環境政策にかかる意見交換会



大野市

市民と目指すべきゴールを共有し、2050年までに二酸化炭素の排出量実質ゼロに挑戦します。

大野市ゼロカーボンシティ宣言

結の郷 越前おおの

大野市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

大野市ゼロカーボンシティ宣言

近年、地球温暖化が原因とみられる気候変動の影響により、世界規模で猛暑や集中豪雨などの自然災害が頻発し、まさに「気候危機」というべき状況となっています。

2015 年に合意されたパリ協定では「産業革命前からの平均気温上昇の幅を 2℃未満とし、1.5℃に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。2018 年には、気候変動に関する政府間パネル（ＩＰＣＣ）が公表した特別報告書において、この目標を達成するためには、2050 年頃には二酸化炭素排出量を実質ゼロとすることが必要との見解が示されています。

こうした中、昨年 10 月に内閣総理大臣が「2050 年に脱炭素社会の実現を目指す」ことを宣言しました。

大野市においても、本年３月に策定した「第三期大野市環境基本計画」に基づき、脱炭素化に向けた行動の促進やまちづくりの推進に取り組んでいきます。

日本百名山の荒島岳をはじめとする緑豊かな山々や、大野盆地を潤す清らかな九頭竜川水系、市民の誇りである湧水地と地下水、日本一にも選ばれた美しい星空など、大野市には豊かな自然が残されています。

このかけがえのない自然環境を、私たちの将来の世代に引き継いでいくためにも、全世界が挑む気候変動という難題に対し、市民や事業者の皆さんと目指すべきゴールを共有して一体となって取り組んでいかなければなりません。

大野市は、2050 年までに市内の二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」の実現に挑戦することを宣言します。

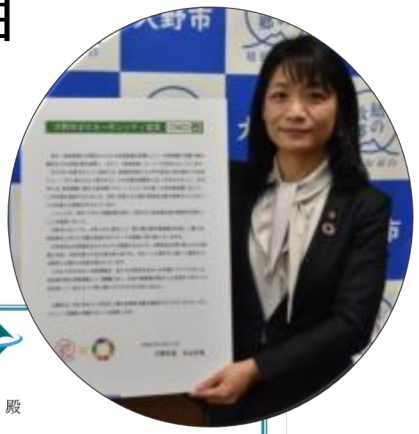
令和３年３月２５日

大野市長　石山志保

宣言日　2021年3月25日

全　国　342番目

県　内　4番目



福井県大野市長　石山　志保　殿

貴市におかれましては、この度、自治体として 2050 年の温室効果ガスの実質排出量ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指されることを表明されました。今回の貴市の表明をもちまして、ゼロカーボンシティは国内で 342 自治体となりました。我が国としてのパリ協定の目標達成に向け、大変心強く感じております。

先日、国内各所に甚大な被害を及ぼした巨大台風の事例は記憶に新しいところですが、温室効果ガスの増加に伴い、今後、このような水害等の更なる頻発化・激甚化などが予測されております。こうした事態は、もはや「気候変動」ではなく、私たちの生存基盤を揺るがす「気候危機」と表現するべき事態と考えております。

2015 年に合意されたパリ協定では「平均気温上昇の幅を 2 度未満とする」目標が国際的に広く共有されました。この目標の達成に向けては、各国政府関係者の努力はもとより、地方自治体を始めとしたあらゆる主体、ノン・ステート・アクターの取組が極めて重要です。

環境大臣として、スペイン・マドリードで開催された COP25 で発信し、国際的にも高く評価されたところです。こうした日本国内の力強い取組をしっかり発信するとともに、パリ協定の目標達成に向け、貴市及び他のゼロカーボンシティとともに取組のさらなる具体化に努めてまいります。

環境大臣　小泉進次郎

大野市脱炭素ビジョンの策定

大野市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

R3　ステップ①　最終的な目標（絵姿）を描く

脱炭素と地域課題の同時解決が図られた、実現したい未来（2050年）の大野市

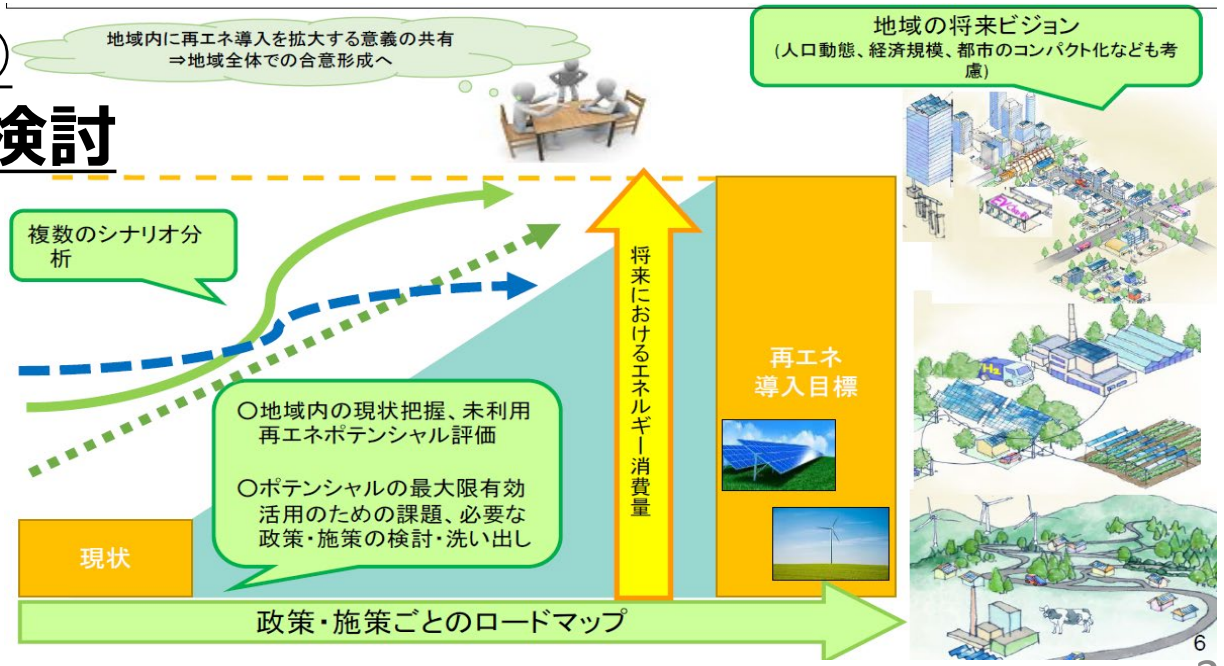
R4[～10月]　ステップ②　脱炭素シナリオの作成（CO2の削減目標、再生可能エネルギーの導入目標）

省エネ対策と再エネ導入（いつまでに、どの再エネを、どれくらい導入するか）

R4[～12月]　ステップ③　プロジェクト等を検討

目標を達成するための
実現方策、推進体制

R５[３月]　ビジョン策定



大野市の取り組み①

結の故郷 越前おおの
大野市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

脱炭素型エコライフの普及啓発

◆ゼロカーボン推進事業　【R3～】

①エコドライブ講習

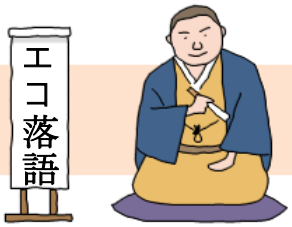
エコドライブシミュレータを使って、
ＣＯ２排出量を抑制した運転を体験する.



【対象】成人

②笑って学ぶ！Eco落語

環境をテーマにした創作落語を通じて、楽しく、
環境問題について考える



【対象】中学生

③遊んで学ぶ！Eco遊園地

人力発電で動く乗り物、シミュレータを設置、
来場者にアンケート＆パネル展示で地球温暖化等を学ぶ。Vioで開催



【対象】市民全般
（子育て層）

④楽しく学ぶ！Eco紙芝居

環境をテーマにした紙芝居を通じて、楽しく、
環境問題について学ぶ。振り返り学習も実施。



【対象】小学生・未就学児（児童館）

楽しい！
おもしろい！
×
エ　コ
→
行動変容

大野市の取り組み②

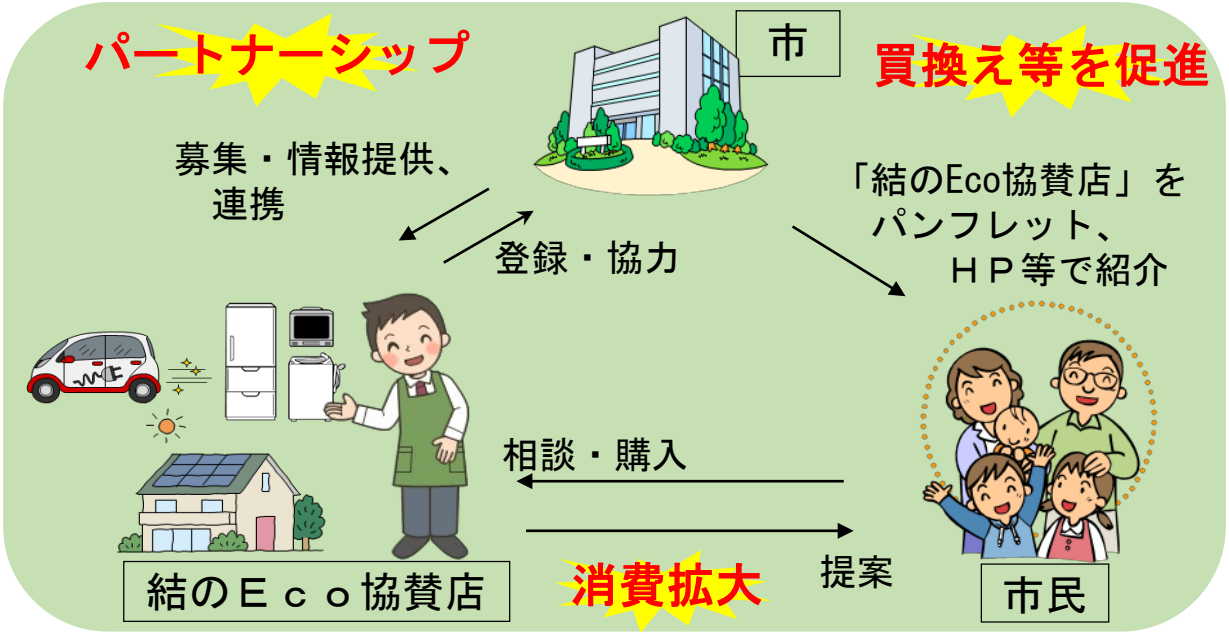
大野市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

市内事業者とのパートナーシップの構築

◆頼って安心！結のEco協賛店【R3～】

省エネ家電や太陽光発電設備、エコ住宅、エコカーなどを取り扱う市内の事業者を募集し、パンフレット等で市民に紹介。

【対象】市内事業者
（家電・工務店など）





R4.10現在　48店舗が登録

大野市の取り組み③

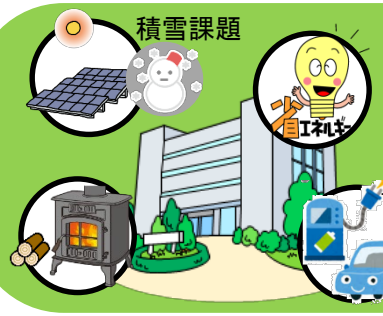
結の故郷 越前おおの
大野市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

公共施設の脱炭素化

<u>設備老朽化・多量CO_2排出施設を優先</u>

R3　うらら館・図書館・めいりんにて、
　　省エネ診断を実施

→脱炭素化改修検討の足がかりに



STEP①　設備更新（省エネ化）
STEP②　再エネ導入
STEP③　RE100電力への切替
→市内横展開
→ランドマーク化

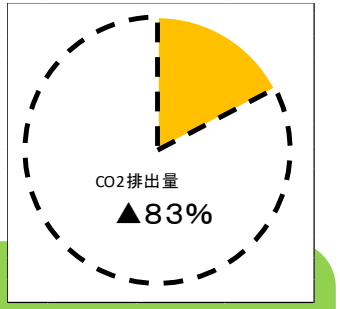
◆木質バイオマスボイラーの導入　【R3～R5】

六呂師高原トロン温浴施設「うらら館」の老朽化した重油ボイラーを、
木質バイオマスボイラーに更新。太陽光発電、蓄電池の導入も検討。





CO2排出量削減効果（2019比）



①老朽設備の更新
②周辺防災力の強化
③環境破壊リスクの除去
（重油漏れ）
④脱炭素化

同時解決!

地域レジリエンス・脱炭素化同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業

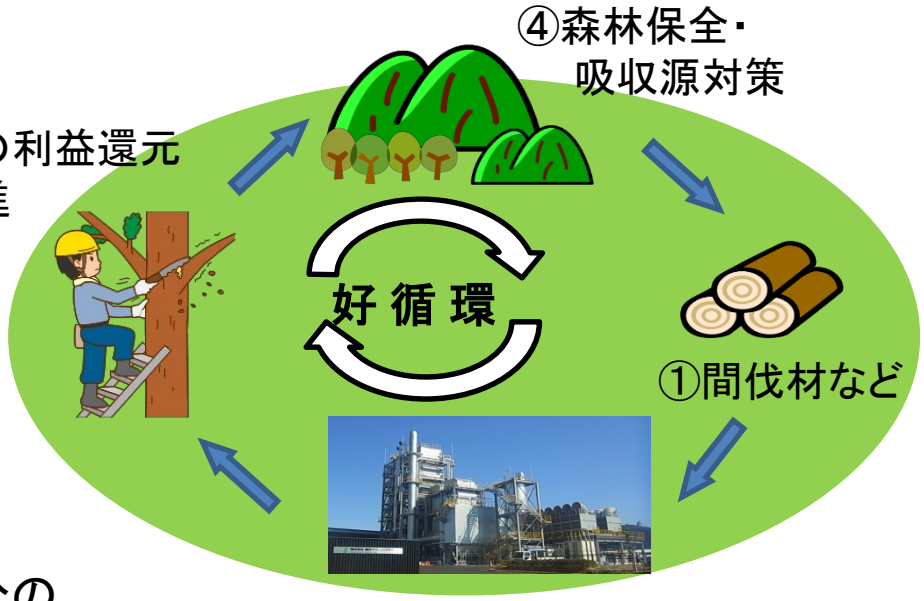
大野市の取り組み④

大野市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

未利用系木質バイオマス活用によるCO2吸収源対策

◆木質バイオマス発電所への間伐材等の安定供給支援【H27～】

①間伐材等の安定供給
②森林所有者への利益還元
③森林施業の促進
④森林保全、CO_2吸収量増大



⇒今後の展開　森林経営によるCO2吸収分の
クレジット化（カーボンオフセット）の研究

大野市の取り組み⑤

大野市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

プラスチックごみの削減

◆生分解性マルチの利用促進補助　【Ｒ３～】

従前の農業用マルチ　・・・収穫後に回収し、ＪＡ等を通じ産業廃棄物として処分

【 問題 】 機械化が困難なため、重労働
【 問題 】 廃プラスチック



生分解性マルチへの転換

化石燃料由来の農業用マルチの廃棄作業削減

同時解決!!

人口減少、高齢化を
見据えた
農作業の省力化

×

脱プラスチック

大野市の取り組み⑥

大野市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

◆クリーン農業スタート事業補助

■エンジン式刈払機からバッテリー式刈払機への買替費用を補助

◆県産材活用事業補助

■PR効果の高い施設の県産材を使用した建築に対しての補助

◆小学校施設営繕事業

■空調設備・ZEB化可能性等の調査

